地域特性を活かした「地域ビジョン」の創造支援
～地域診断法及び総合的な学習の時間における展開～

関連するSDGsの国際目標

地域共生センター　　教授　　鵜飼　修
研究分野：まちづくり、地域活性化、
コミュニティビジネス
http://eco-minka.com

地域まちづくりを推進する際に「軸」となる「地域ビジョン」を設定し、共有する手法「地域診断法」のノウハウを提供します。集落での基本計画づくりや、小学校の総合的な学習における地域まちづくり学習のコンテンツも提供することができます。

■地域診断法

地域診断法は、地球環境と共生した人間社会、地域の特性を活かした地域活性化を目指して、地域のあるべき方向性を明らかにする手法です。調査形式と住民参加によるワークショップ形式があります。調査形式では、設定されたテーマに対して、エコロジカルプランニングの視点で地域の特徴をマトリックス分析し、バックキャスティングのための、地域のあるべき方向性、キャッチフレーズなどを提示します。市町村レベルから集落レベルまで対応可能です。

【実績（外部からの委託含む）】
守山市地域診断、永源寺地区地域診断　など

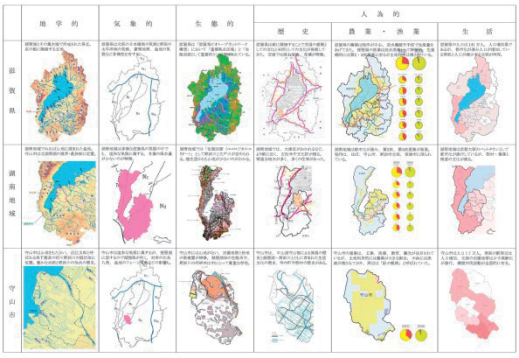


図1：地域診断法のマトリックス分析

■地域診断法ワークショップ

地域診断法ワークショップは、地域診断法の理念を踏襲しつつ、住民参加形式で「1日で」地域のビジョンを見出す手法です。５つのステップで構成され、ファシリテーターの指導のもと、地域住民と「よそ者」が協働してワークショップを行い、未来に継承したい地域の特徴を明らかにします。

【実績（依頼業務含む）】
彦根市下石寺町、薩摩町、上岡部町、稲枝北学区、稲枝地区まちづくり協議会、東近江市五個荘川並、米原市梓河内、井之口、福井市社南公民館　ほか



図2：地域診断法WSのハンドブック

■総合的な学習の時間における地域診断法WSの実施

小学校6年生の総合的な学習の時間における「地域学習」として地域診断法WSを応用したプログラムを開発しました（マニュアル化済み）。学習指導要領で推奨されている、探求プロセスと同様に、課題の発見、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現が繰り返し実施され、「地域」をテーマにした児童生徒の創造性・愛郷心を育むプログラムです。

【実績】
彦根市稲枝北小学校（2014,15）ESDプログラムの一環で実施
多賀町大滝小学校（2016～）多賀町のまちづくりと連動

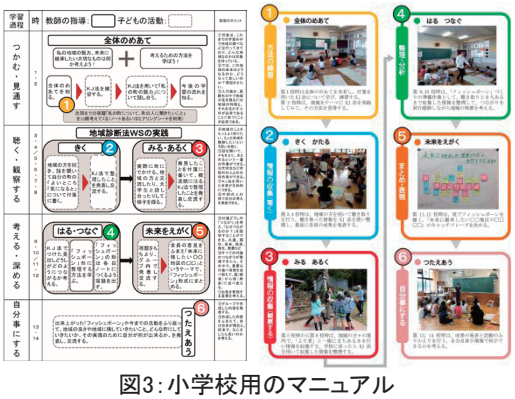


図3：小学校用のマニュアル

＜特許・共同研究等の状況＞
・博報財団第13回助成「地域診断ワークショップを活用したまちづくり学習プログラム・ツールの開発」
2018年度、協力：多賀町大滝小学校、多賀町